

金星

～ 一番星を見つけよう ～

最近、太陽が沈んでしばらくすると、西の空に非常に明るく光る星を見ることが出来ます。これが金星です。明け方見える金星を「明けの明星」、夕方見える金星を「宵の明星」といいます。今は西の空に一番星として見ることが出来ます。ぜひ、探してみてください。

金星ってどんな惑星？

～ 厚い大気におおわれた惑星 ～



赤道半径：6052 km (地球は 6378 km)

公転周期：224.7 日 (地球は 365.3 日)

自転周期：243 日 (地球は 0.99 日)

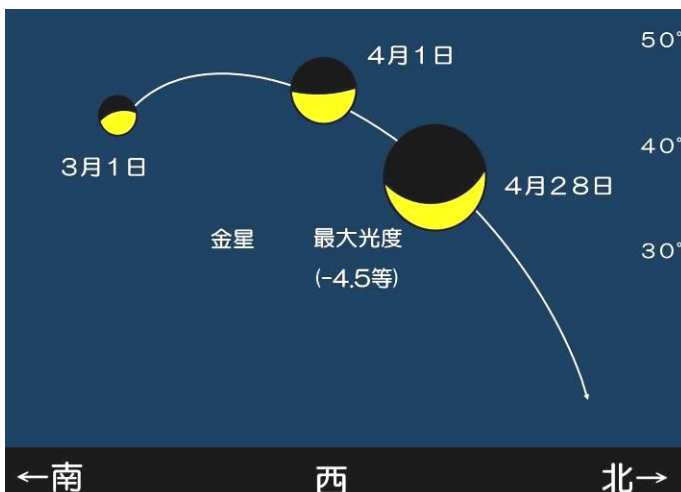
金星には厚い大気があり、そのほとんどが二酸化炭素です。金星の大気の上層部では秒速 100mの風が吹いていて、金星をたった 100 時間で1周しています。この強風を「スーパーローテーション」と呼びます。金星の自転速度よりも速い風がなぜ吹くのかはわかっていません。

月が金星に最接近

4月27日(月)、金星のそばに月を見ることが出来ます。この日の月齢は4です。望遠鏡では細い月、そして細い金星を見ることが出来ます。双眼鏡を持っている方は、双眼鏡でものぞいてみてください。月と金星が沈むのが22時過ぎですので、西が開けている所では長い時間見ることが出来ます。スマートフォンでも、機種によっては月と金星が接近した様子を撮影できますので、挑戦してみましょう。



金星が最大光度



4月28日(火)に金星が最大光度になります。明るさは-4.5等です。金星の位置がわかれば昼間でも肉眼で見ることが出来ます。この日の南中は14時44分です。晴れたら、この頃に南の方角を探してみてください。もしかしたら肉眼で見ることが出来るかもしれません。望遠鏡で見ると、細く欠けた金星を見ることが出来ます。金星は5月いっぱいまで、西の空に見ることが出来ます。6月になると一度見えなくなり、明け方の東の空へと移ります。